

平成30年度
赤穂市立赤穂中学校
「学校だより」

荒神台

NO. 54

平成30年12月4日発行
文責 校長（平井 正彦）

12月 師走

秋が深まりを見せ、紅葉を楽しむ観光客で、各地は賑わっています。

今年もあと1ヶ月となりました。陰暦12月を「師走」（しわす・しはす）と言い、「師馳せ月」（しはせづき）から出た言葉で、語源は、師は「僧」で、お経をあげるために東西を走り回る（馳せる）月であるとか、師は「教師」で、学校の先生も忙しくて走り回る月とか、いろいろな説があります。

現代の先生は、1年中忙しいのですが、特に11月ごろからは、通常の授業や生徒会活動・行事、部活動、土曜日の試合や遠征、研究会・研修会の資料づくりと参加、期末テストや通信簿などの成績に関する事務、個別面談の資料作成や打ち合わせ、その他年末・年始を迎える準備などもあり、さらに、3年生は進路指導の成績や資料作成と会議など、多忙な毎日を送っています。

学校には、いろいろな生徒が通い、大人として自立し、良き社会人となるための基礎・基本を学び、体験しています。生徒たちは、学校や保護者、地域からの期待に応えようと、集団としての成長を自らの肌で感じながら、日々生活しています。その様子は、学校行事やオープンスクールの機会にご参観いただいた方は、十分感じていただけたと思っています。

ところが、文化祭や期末テストが終わったことで気が緩みがちになり、3年生は「進路選択」の時期に入り神経質になっています。このため、授業中の真剣さがなくなってきたり、思わぬ事故やケガが増えたり、ト

ラブルでけんかになったり、気持ちの不安定を人や物にぶつけたり、学校が不安定な時期に入ります。

先生は、忙しさに振り回されないように、できるだけ普段と変わりなく、きめ細かに生徒たちに関わっていくようにしておりますが、生徒たちは、とにかく動き回っていますので、目の行き届かないところも出てきます。

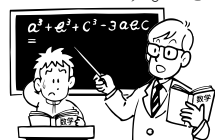
ご家庭で、あるいは地域で生徒の様子を観て、気になることがありましたら、学校へお知らせください。何もかも学校が引き受けることはできませんが、学校として対応する必要があることについては、責任を持って対応いたします。

師走を迎え、世の中が忙しくなり、バタバタと日が過ぎていき、細かいところを見落としがちな時期だからこそ、生徒たちをしっかりと見つめ、気持ちをしっかり受け止めてやるのが大切です。

さて、12月13日、17日、18日、19日の4日間の個別面談が始まります。

担任も保護者のみなさんも、生徒が立派な社会人に成長し、人間として大きく育てて欲しいという願いはいっしょです。生徒自身も立派な大人に成長したいと願っています。

面談を通して、生徒が成長したところと改善しなくてはならない課題を明確にし、きちんと受け止め、学校と家庭が手を組んで、具体的に生徒にどんな働きかけをするのかを話し合ってください。



兵庫県「のじぎく賞」 人命救助 3年 延原豪暁くん



この度、彼の善行に対し、兵庫県知事より「のじぎく賞」が贈られ、本校校長室において11月13日（火）、横山赤穂警察署長より授与されました。

「人の役に立つ」ことで、自分を含め、みんなが「幸せ」になっていきます。

赤穂中学校 文化週間 ～オープンスクール～

授業参観



■多くの保護者、地域の方にお越しいただきました。生徒の様子はいかがでしたか。11/5、6、8〔19名〕、11/7【合唱コンクール】〔217名〕、11/9【文化祭】〔259名〕

合計（延べ） 495名

■オープンスクール以外の日も参観できます。いつでも、お越しください。

ちょっと、いい話 !!

「持ちましようか？」



■11月12日（月）、午後から西播地区全中学校の技術科担当者を集め、10月に開催した県研究大会の記録をまとめる作業をC L教室（コンピュータ室）で行いました。28人の先生が、2時間半頑張ってくれました。

午後3時半頃作業が終わり、解散し、空の段ボールを2つ抱えてC L教室を出たところ、一人の男子生徒が近寄ってきて、「持ちましようか？」と声をかけてくれました。私は、とてもうれしかったのですが、空箱だったので、「空箱だから大丈夫！ ありがとう！」と返事しました。その生徒はニコツとして、仲間のいる場所へ戻っていきました。



■近くにいた他校の先生は、その光景を見て、「校長先生、赤穂中学校はすごい生徒がたくさんいますね。坂道では立ち止まって礼をしてくれる。あんな風に自然に声をかけることができる。それに、明日、「のじぎく賞」をもらう生徒がいると言うし、一体どうなっているんですか？ 何か魔法でも掛けたのですか？」と不思議そうに訊いてきました。

■私はいつも、「子どもたちはみんな、人を大切に、人の役に立ちたいと思っているからですよ。」と説明しています。



校長講話より 12/3(月)生徒集会

進路を切り開く～小さな勇気の積み重ね～

『みなさんも、自分の将来の夢を実現させるために、自分自身とせめぎ合う時期に入っています。人はだれもが、「面倒なことはしたくない」「しんどいことより、楽な方がいい」という弱さを持った動物です。しかし、その弱さを克服する強さも持っています。

それは、小さな勇気を積み重ねることです。
□しんどくなってきたけれど、あと10分勉強を続ける勇氣

□朝、眠たいのを我慢して、起きる勇氣

□英単語や漢字をもう1回覚えなおす勇氣

□ゲームをしたいけれど、もう1問解いてからにしようと頑張る勇氣

小さな勇気の積み重ねが、自分の「夢」を実現させる大きな力になります。』



表彰と記録

水泳競技

第24回明石室内選手権水泳競技大会
三木山総合公園屋内プール 10/28

(女子) 河村 凜 100m自由形 1位

男子ソフトテニス

赤穂市中学校学年別ソフトテニス大会
赤穂城南緑地公園 10/27

(2年) 川畑 颯士・秋津 慶司 2位

女子ソフトテニス

赤穂市中学校学年別ソフトテニス大会
赤穂城南緑地公園 10/27

(1年) 日和 真子・石黒 留依 1位

(2年) 竹下 柚那・若狭 弘実 1位

小田 一葉・高岡 沙良 2位

柔道

西播地区中学校新人体育大会

赤穂市総合体育館 10/20-21

(個人)男子 60kg級 川島 朋也 1位

女子48kg 竹内 絢音 3位

女子70kg超級 山脇 千和 1位

〃 吉村 優心 2位

子ども組合貯蓄作品

<ポスター部> 銅賞 木本 愛理 1年

兵庫県幼小中造形教育展

<絵画・デザイン総合展>

・入選 (西播奨励賞) 数字は学年

津野 龍文 1、津野くらら 3

・入選 鬼塚 鵬光 1、堀口 大翔 2

起塚 幸香 3、延近 悠希 3

松本 夢朋 3、名田 陽香 3

瀧谷 咲月 3、大崎 和葉 3

兵庫県中学校総合文化祭

【美術の部】特選 大崎 和葉 3年

入選 辻元 まい 2年

〃 阿賀 勇人 1年

西播磨俳句祭 10/20

【県芸術文化協会賞】 松本 夢朋 3年

【奨励賞】 福岡あかね 3年

【入選】 三浦 樹 3年

中学生の税についての作文 <数字は学年>

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

<表彰式12/19:赤穂市役所>

・宮本佳穂3 兵庫県納税貯蓄組合総連合会長賞

・大崎和葉3 相生税務署長賞

・上垣美結3 赤穂市長賞

・亀井末柚3 相生税務署管内租税教育推進協議会長賞

・津野くらら3 相生納税協会会長賞

・池内源太郎3 相生納税貯蓄組合連合会長賞

赤穂中学校 文化祭

■赤中アカデミー賞

【最優秀演技賞】橋本 丈一郎 (3-2)

■赤中アカデミー賞《美術部門》

【最優秀スタッフ賞】3年2組

職員紹介 みき かずこ 三木 和子 先生

□先週より、新しく講師の先生が着任しています。2年生を中心に、学級・学年の活動や授業の複数指導でお世話になります。(火～金)